

福生市こども計画策定のための 若者意識調査

報告書

令和6年10月

福 生 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	働くことについて	5
3	家族や家庭について	6
4	結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて	10
5	あなた自身の普段の生活や悩みなどについて	13
6	将来について	18
7	福生市について	20
III	自由回答	24

I 調査の概要

1 調査の目的

福生市では、今後のこども・若者施策を推進するため、「福生市こども計画」の策定に取り組んでいます。本調査は、計画策定に当たり、若い世代の意見を施策に反映させることを目的として実施したものです。

2 調査対象

福生市在住・在勤（在学）の若者（おおむね15歳から39歳まで）

3 調査期間

令和6年8月1日から令和6年8月22日

4 調査方法

Webによる調査

5 回収状況

配 布 数	有効回答数	有効回答率
（オープン調査）	135 件	—

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

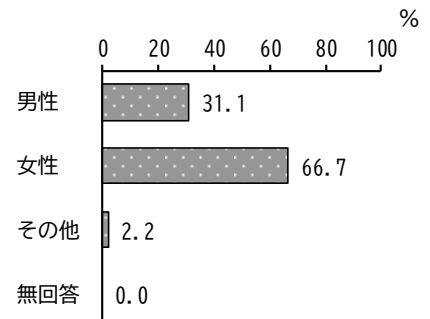
Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

問1 あなたの性別を選んで○をつけてください。(自認する性をお書きください。)
(○は1つ)

「男性」の割合が 31.1%、「女性」の割合が 66.7%となっています。

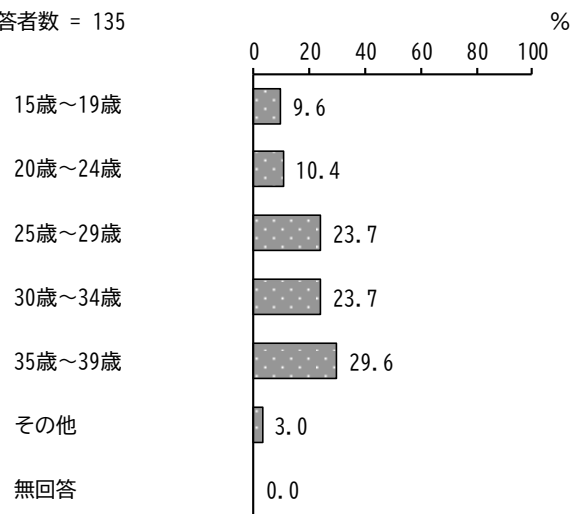
回答者数 = 135



問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

「35 歳～39 歳」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「25 歳～29 歳」、「30 歳～34 歳」の割合が 23.7%となっています。

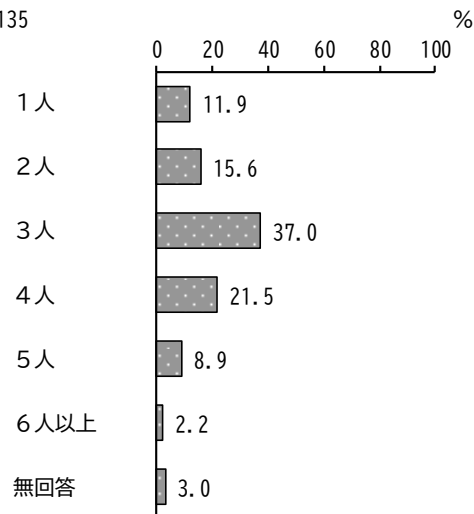
回答者数 = 135



問3 あなたが同居している家族はあなたを入れて全員で何人ですか。
(一時的に単身赴任している家族も人数に含みます。)(数字を記入)

「3人」の割合が 37.0%と最も高く、次いで
「4人」の割合が 21.5%、「2人」の割合が 15.6%
となっています。

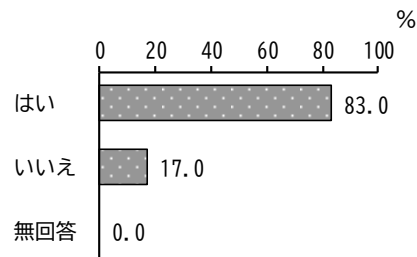
回答者数 = 135



問4 あなたは市内にお住まいですか。(○は1つ)

「はい」の割合が 83.0%、「いいえ」の割合が
17.0%となっています。

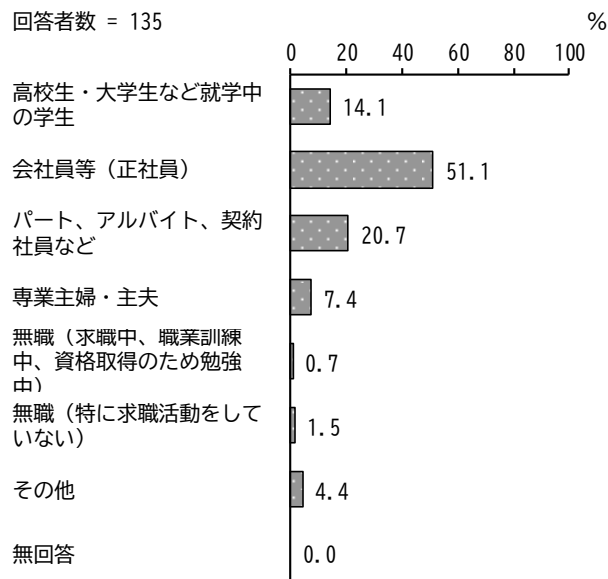
回答者数 = 135



問5 あなたの職業は、次のどれですか。(○は1つ)

「会社員等(正社員)」の割合が 51.1%と最も
高く、次いで「パート、アルバイト、契約社員な
ど」の割合が 20.7%、「高校生・大学生など就学
中の学生」の割合が 14.1%となっています。

回答者数 = 135

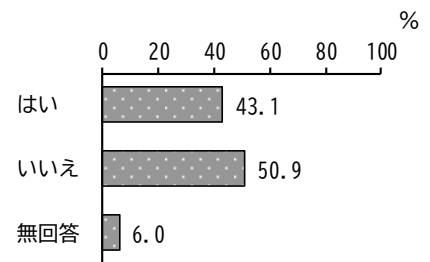


問5で「高校生・大学生など就学中の学生」「会社員等（正社員）」「パート、アルバイト、契約社員など」に○をした方にお伺いします。

問5－1 あなたは市内在勤・在学ですか。（○は1つ）

「はい」の割合が43.1%、「いいえ」の割合が50.9%となっています。

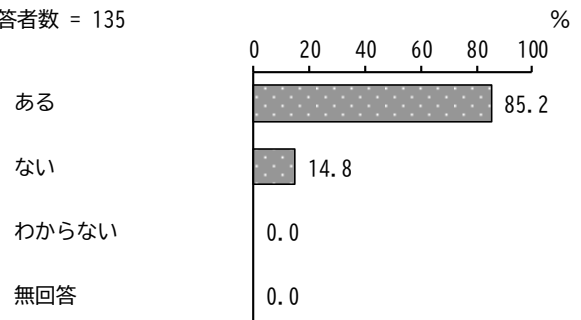
回答者数 = 116



問6 あなたは社会との関わり（学校、職場など）がありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が85.2%と最も高く、次いで「ない」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 135

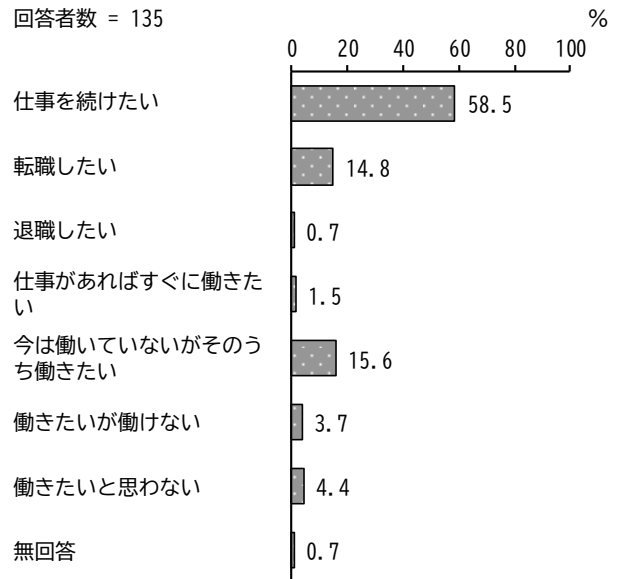


2 働くことについて

問7 あなたは、今後、働くことについてどう考えていますか。(○は1つ)

「仕事を続けたい」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「今は働いていないがそのうち働きたい」の割合が 15.6%、「転職したい」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 135

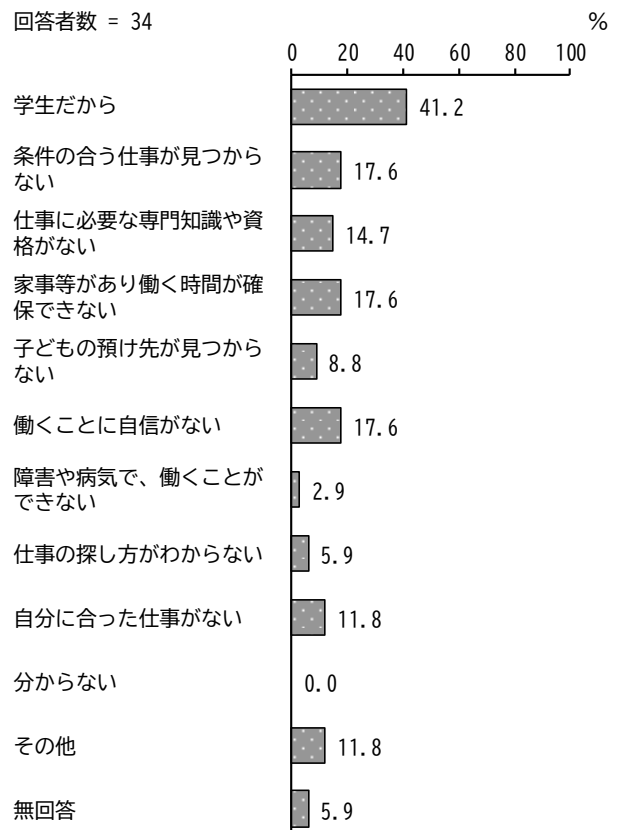


問7で「仕事があればすぐに働きたい」「今は働いていないがそのうち働きたい」「働きたいが働けない」「働きたいと思わない」に○をした方にお伺いします。

問7-1 理由を教えてください。(○はいくつでも)

「学生だから」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「条件の合う仕事が見つからない」、「家事等があり働く時間が確保できない」、「働くことに自信がない」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 34

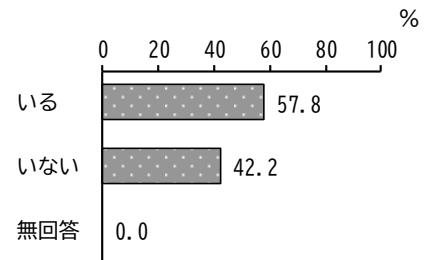


3 家族や家庭について

問8 あなたには配偶者（パートナー）がいますか。（○は1つ）

「いる」の割合が57.8%、「いない」の割合が42.2%となっています。

回答者数 = 135

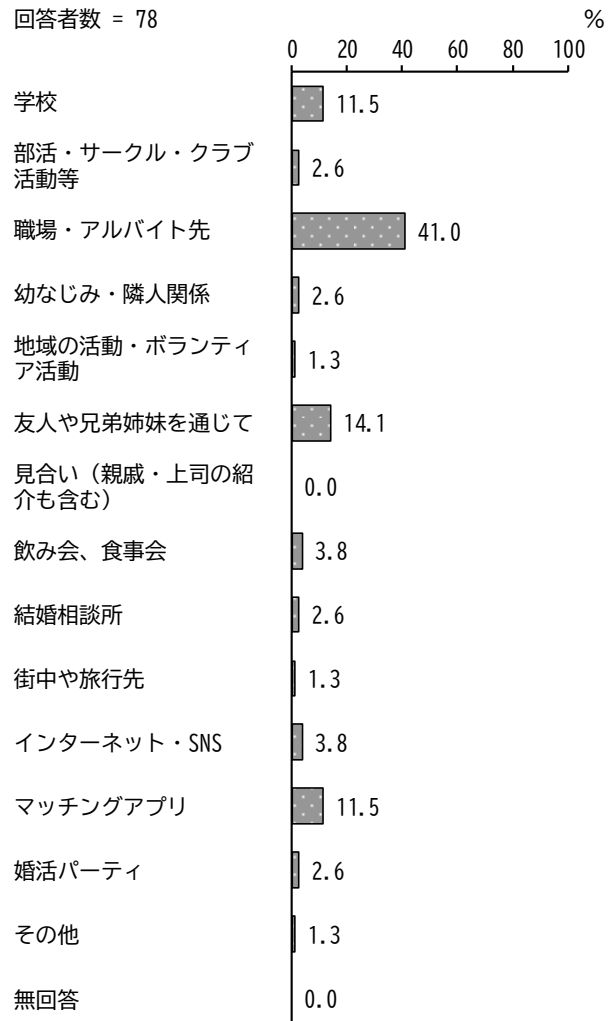


問8で「いる」に○をした方にお伺いします。

問8-1 あなたは、現在の配偶者（パートナー）とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。最もあてはまると思うものを選んでください。（○は1つ）

「職場・アルバイト先」の割合が41.0%と最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」の割合が14.1%、「学校」、「マッチングアプリ」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 78

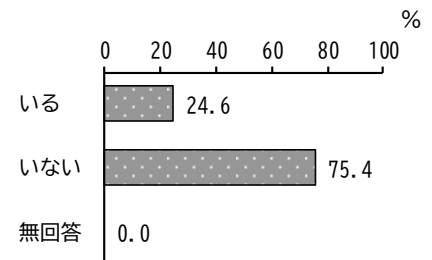


問8で「いない」に○をした方にお伺いします。

問8－2 あなたは、現在交際している人はいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が24.6%、「いない」の割合が75.4%となっています。

回答者数 = 57

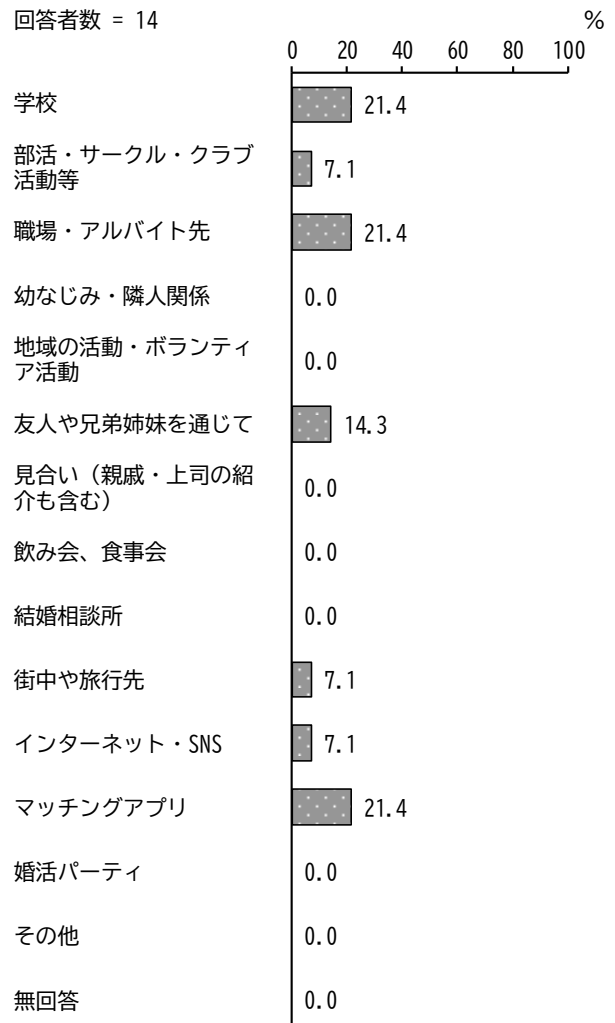


問8－2で「いる」に○をした方にお伺いします。

問8－3 あなたは、現在の交際している人とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。最もあてはまると思うものを選んでください。(○は1つ)

「学校」、「職場・アルバイト先」、「マッチングアプリ」の割合が21.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 14

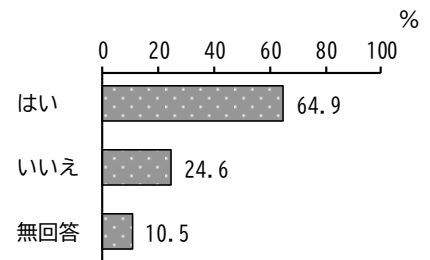


問8で「いない」に○をした方にお伺いします。

問8－4 あなたは、いつかは結婚したいと思いますか。(○は1つ)

「はい」の割合が64.9%、「いいえ」の割合が24.6%となっています。

回答者数 = 57

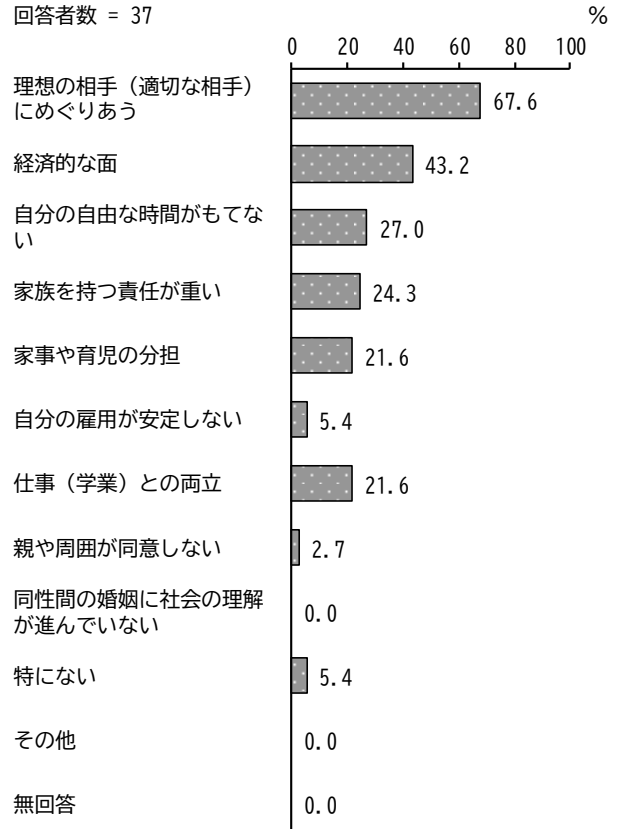


問8－4で「はい」に○をした方にお伺いします。

問8－5 あなたが現在結婚について抱えている不安として、当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「理想の相手（適切な相手）にめぐりあう」の割合が67.6%と最も高く、次いで「経済的な面」の割合が43.2%、「自分の自由な時間がもてない」の割合が27.0%となっています。

回答者数 = 37

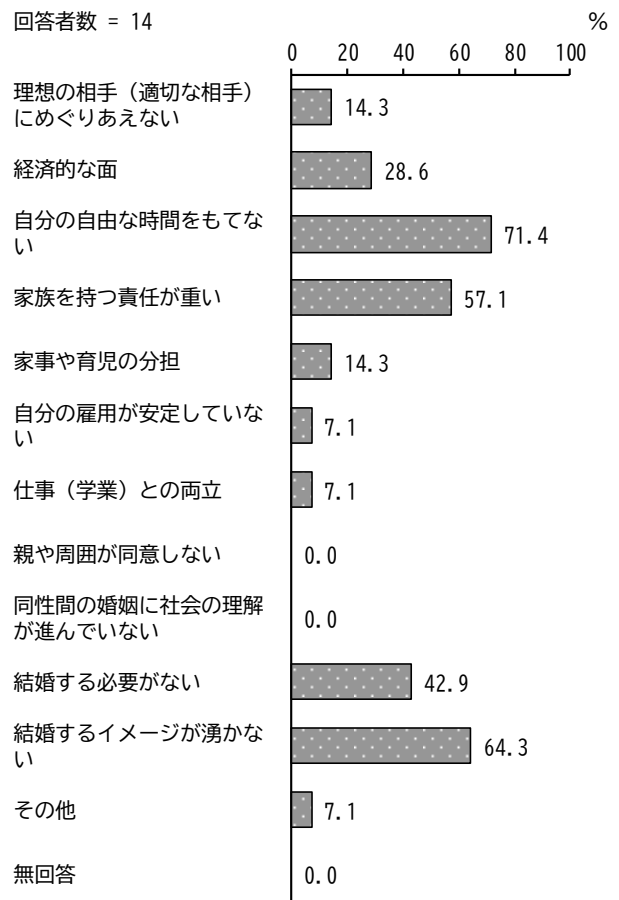


問8－4で「いいえ」に○をした方にお伺いします。

問8－6 あなたが結婚したくないと考える理由をお答えください。(○はいくつでも)

「自分の自由な時間をもてない」の割合が71.4%と最も高く、次いで「結婚するイメージが湧かない」の割合が64.3%、「家族を持つ責任が重い」の割合が57.1%となっています。

回答者数 = 14

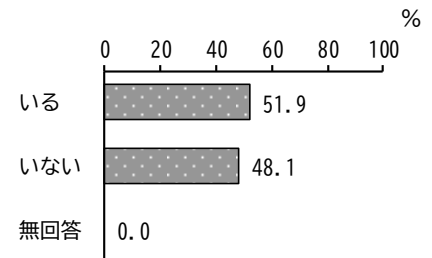


4 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて

問9 あなたには、現在、子どもがいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が51.9%、「いない」の割合が48.1%となっています。

回答者数 = 135

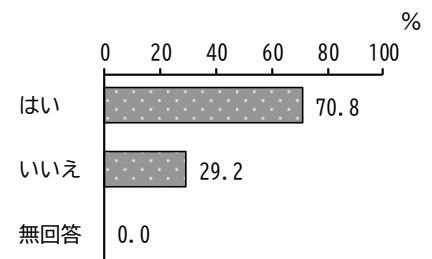


問9で「いない」に○をした方にお伺いします。

問9-1 あなたは、いつかは子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

「はい」の割合が70.8%、「いいえ」の割合が29.2%となっています。

回答者数 = 65

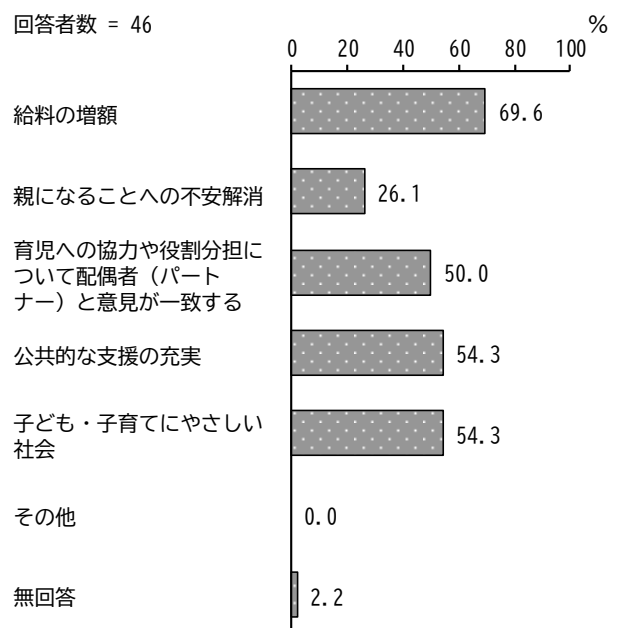


問9-1で「はい」に○をした方にお伺いします。

問9-2 子どもを持つために、どのようなことが必要だと思われますか。(○はいくつでも)

「給料の増額」の割合が69.6%と最も高く、次いで「公共的な支援の充実」、「子ども・子育てにやさしい社会」の割合が54.3%となっています。

回答者数 = 46

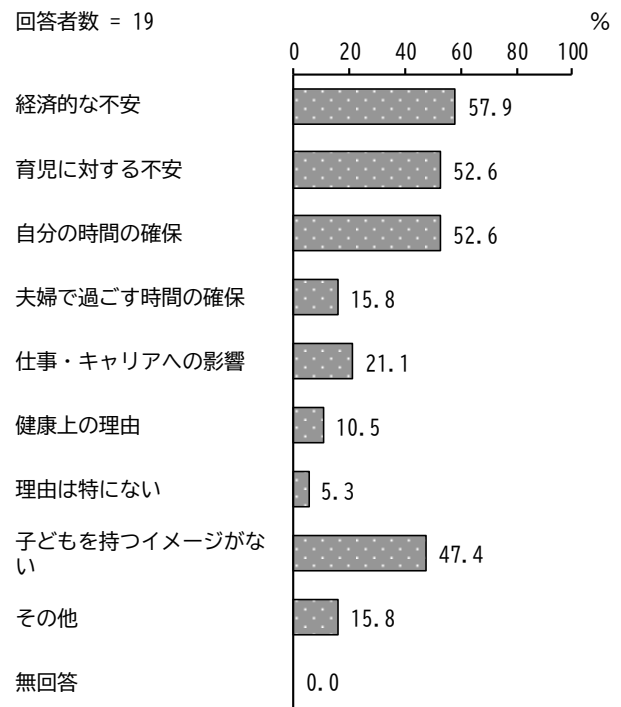


問9-1で「いいえ」に○をした方にお伺いします。

問9-3 あなたが子どもを持ちたいと思わない理由を選んでください。
(○はいくつでも)

「経済的な不安」の割合が57.9%と最も高く、
次いで「育児に対する不安」、「自分の時間の確保」
の割合が52.6%となっています。

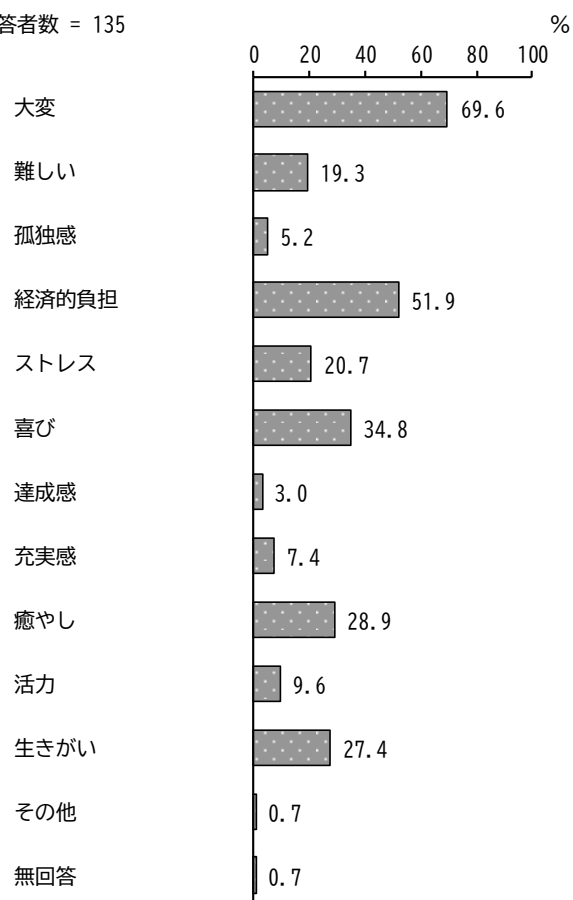
回答者数 = 19



問 10 子育てに対するイメージとしてどのような言葉を思い浮かべますか。
(〇は3つまで)

「大変」の割合が 69.6%と最も高く、次いで
「経済的負担」の割合が 51.9%、「喜び」の割合
が 34.8%となっています。

回答者数 = 135

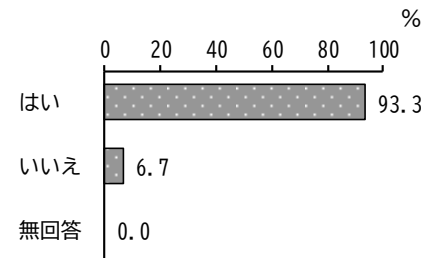


5 あなた自身の普段の生活や悩みなどについて

問 11 あなたは日常生活で幸せだと感じることがありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 93.3%、「いいえ」の割合が 6.7%となっています。

回答者数 = 135

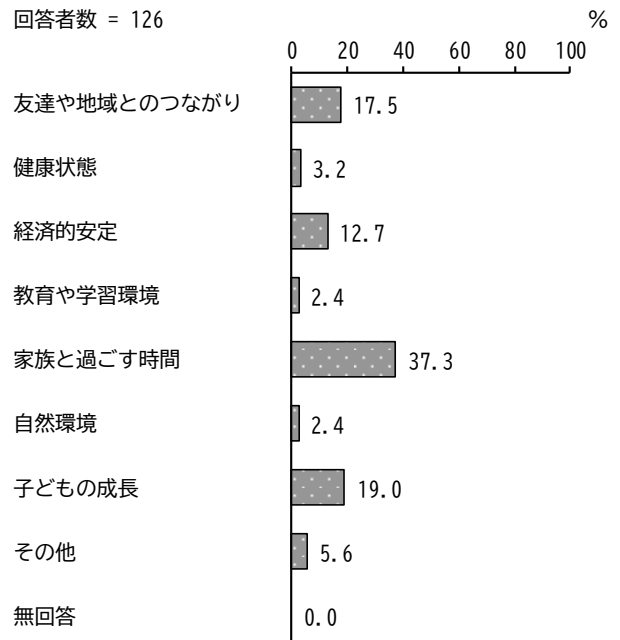


問 11 で「はい」に○をした方にお伺いします。

問 12 次の中でどれが充実していると最も幸せを感じますか。(○は1つ)

「家族と過ごす時間」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「子どもの成長」の割合が 19.0%、「友達や地域とのつながり」の割合が 17.5%となっています。

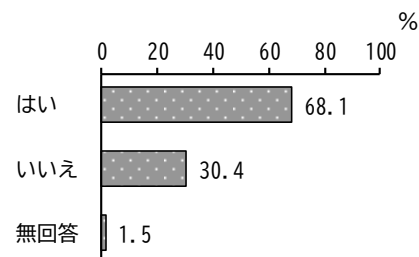
回答者数 = 126



問 13 今の自分が好き又は自分らしくいることができていると思いますか。
(○は1つ)

「はい」の割合が 68.1%、「いいえ」の割合が 30.4%となっています。

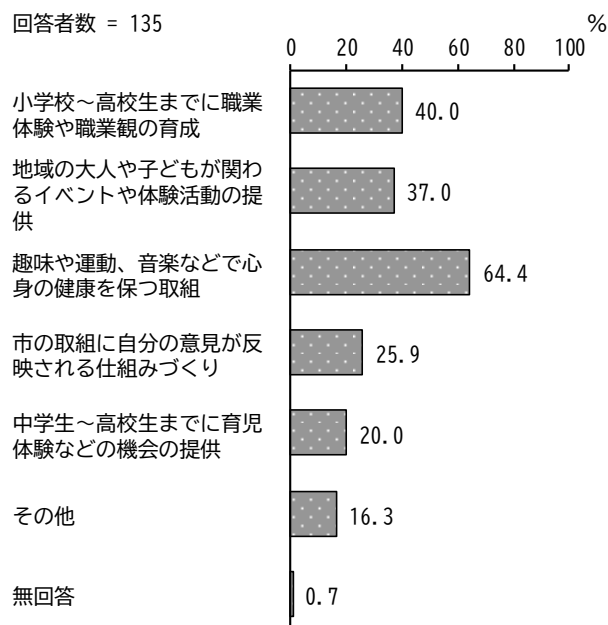
回答者数 = 135



問 14 若者の自己肯定感を高めるために、どのような取組が役立つと思いますか。
(○はいくつでも)

「趣味や運動、音楽などで心身の健康を保つ取組」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「小学校～高校生までに職業体験や職業観の育成」の割合が 40.0%、「地域の大人や子どもが関わるイベントや体験活動の提供」の割合が 37.0%となっています。

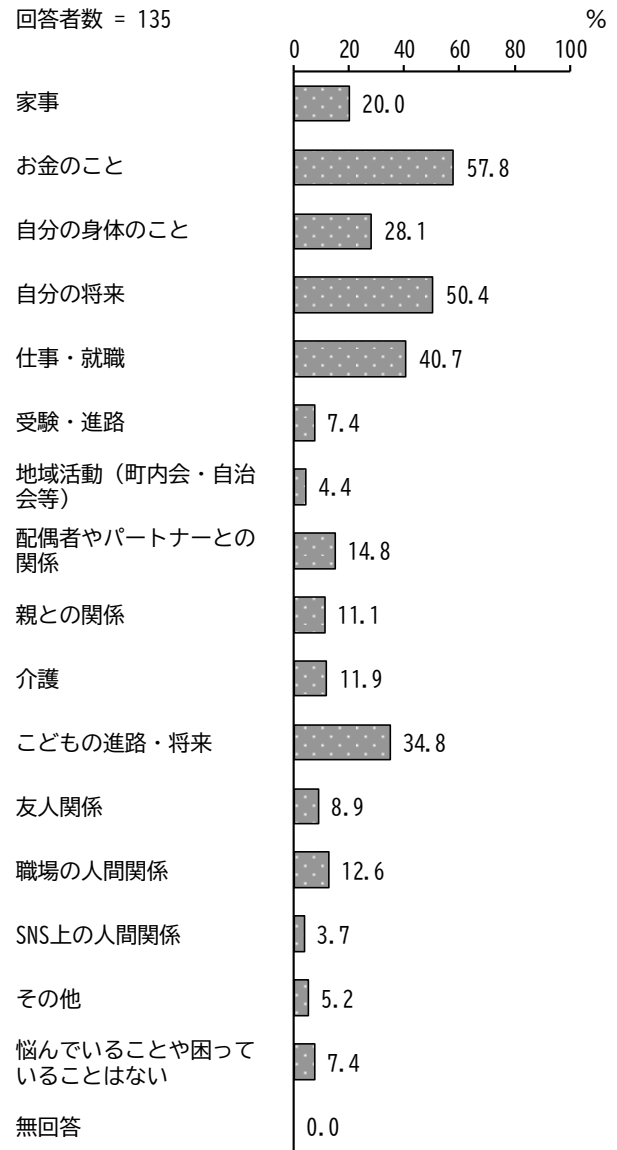
回答者数 = 135



問 15 現在悩んでいることや困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「お金のこと」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「自分の将来」の割合が 50.4%、「仕事・就職」の割合が 40.7%となっています。

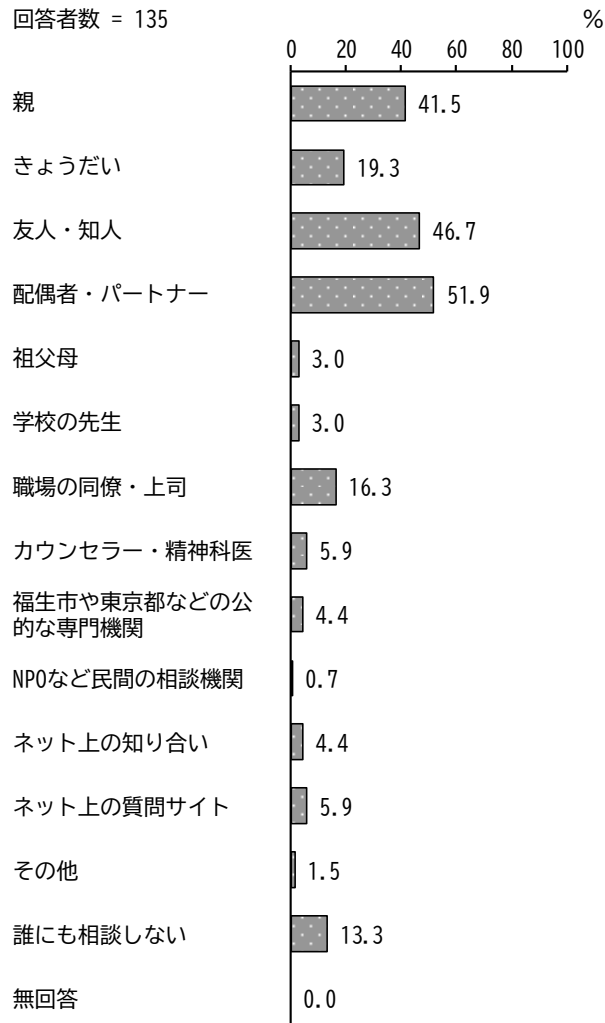
回答者数 = 135



問 16 悩んでいることや困っていることを誰に相談しますか。(○はいくつでも)

「配偶者・パートナー」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 46.7%、「親」の割合が 41.5%となっています。

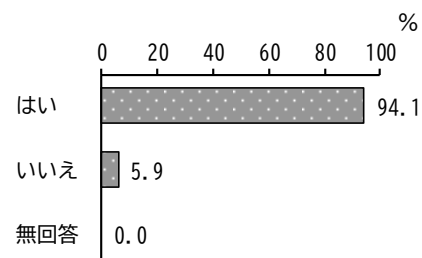
回答者数 = 135



問 17 今のあなたにとって居場所がありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 94.1%、「いいえ」の割合が 5.9%となっています。

回答者数 = 135

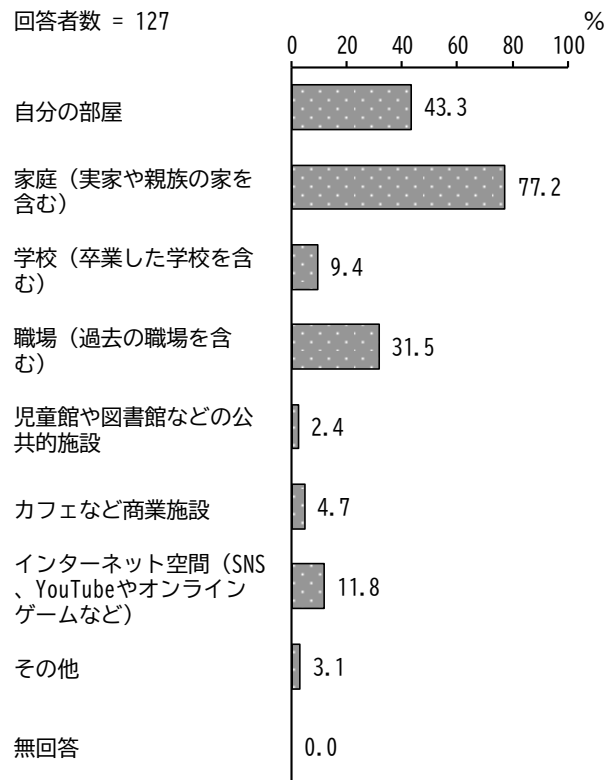


問 17 で「はい」に○をした方に伺います。

問 17-1 それはどこですか。(○はいくつでも)

「家庭（実家や親族の家を含む）」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「自分の部屋」の割合が 43.3%、「職場（過去の職場を含む）」の割合が 31.5%となっています。

回答者数 = 127

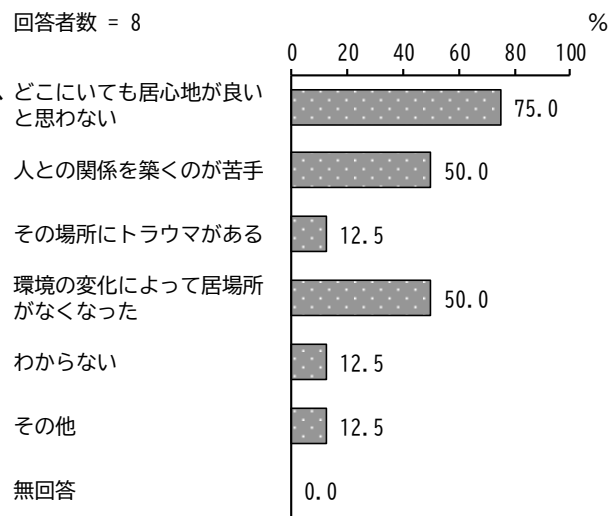


問 17 で「いいえ」に○をした方に伺います。

問 17-2 その理由はなんですか。(○はいくつでも)

「どこにいても居心地が良いと思わない」が 6 件となっています。「人との関係を築くのが苦手」、「環境の変化によって居場所がなくなった」が 4 件となっています。

回答者数 = 8

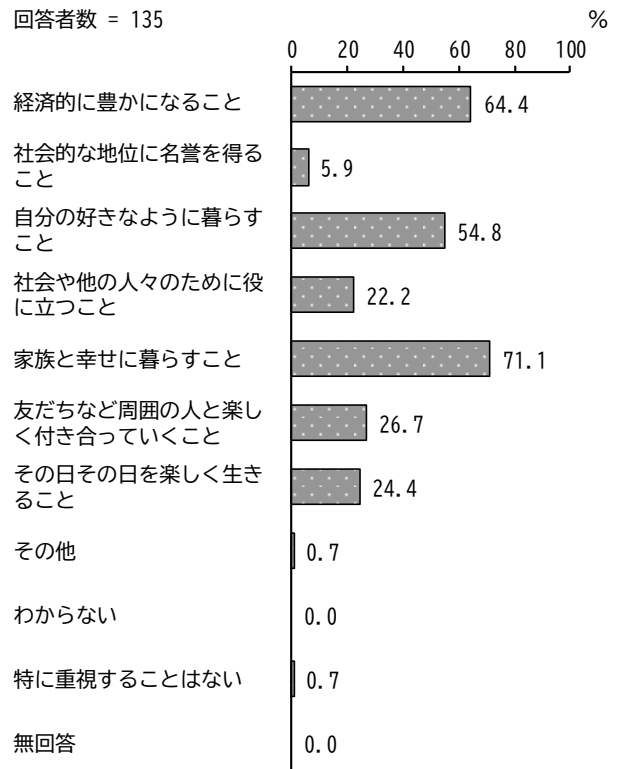


6 将来について

問 18 あなたの理想とする生き方について、次のうち特に重視することは何ですか。（〇は3つまで）

「家族と幸せに暮らすこと」の割合が71.1%と最も高く、次いで「経済的に豊かになること」の割合が64.4%、「自分の好きなように暮らすこと」の割合が54.8%となっています。

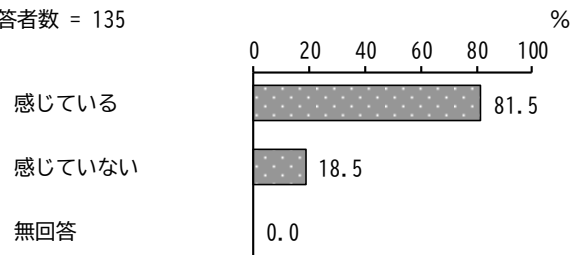
回答者数 = 135



問 19 あなたは、将来に不安を感じていますか。（〇は1つ）

「感じている」の割合が81.5%、「感じていない」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 135

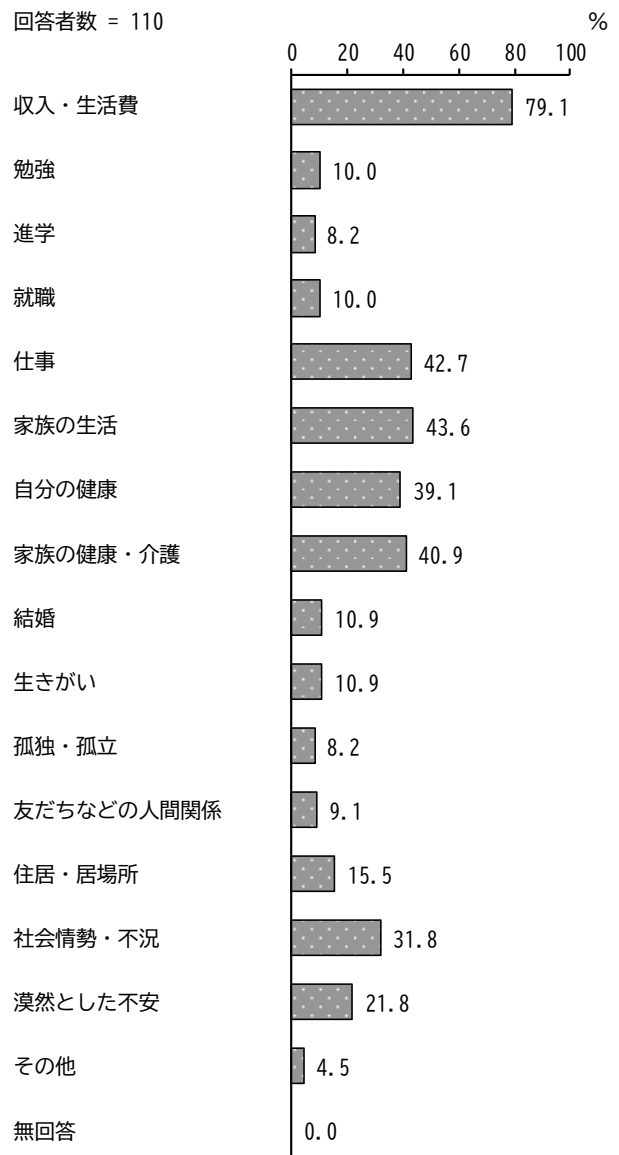


問 19 で「感じている」に○をした方に伺います。

問 19－1 将来への不安は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「収入・生活費」の割合が 79.1%と最も高く、
次いで「家族の生活」の割合が 43.6%、「仕事」
の割合が 42.7%となっています。

回答者数 = 110

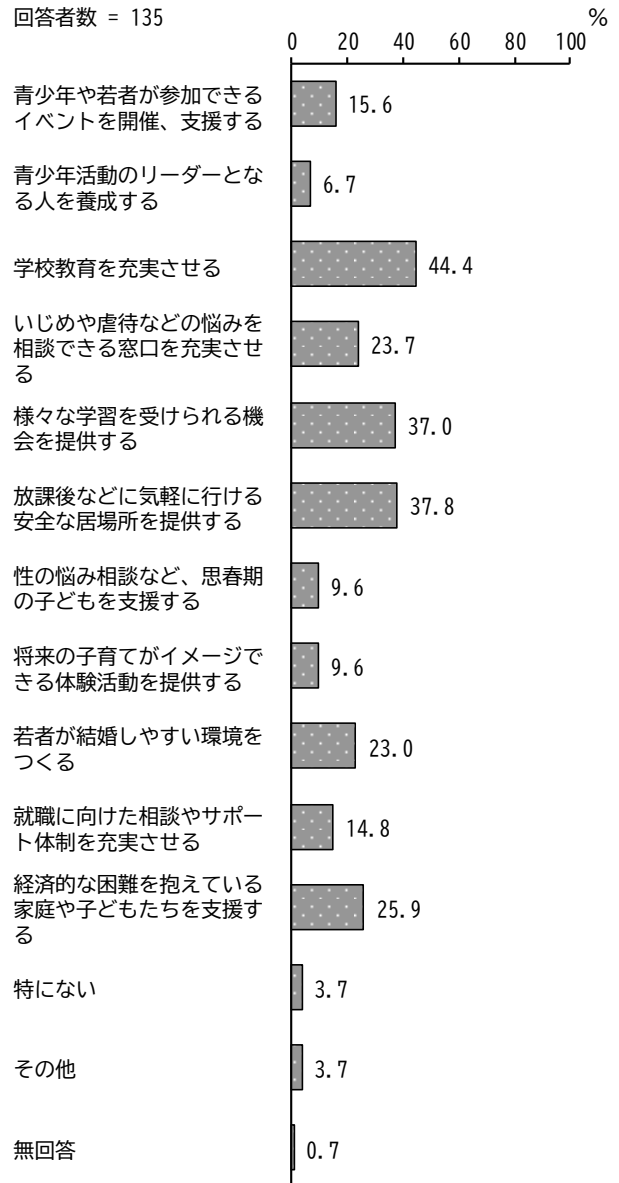


7 福生市について

問 20 あなたは、福生市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(〇は3つまで)

「学校教育を充実させる」の割合が44.4%と最も高く、次いで「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が37.8%、「様々な学習を受けられる機会を提供する」の割合が37.0%となっています。

回答者数 = 135



問 21 自分の意見や考えを、市内に聞いてもらえる場所がありますか。(○は1つ)

「わからない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「ない」の割合が 28.1%、「ある」の割合が 15.6%となっています。

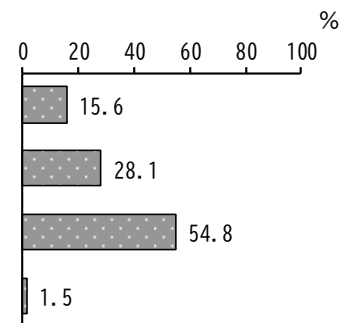
回答者数 = 135

ある

ない

わからない

無回答



問 22 市の施策に対して自分の意見を言うとしたら、どのような方法で伝えたいと思いますか。(○はいくつでも)

「アンケートによる回答 (WEB・紙)」の割合が 79.3%と最も高く、次いで「SNS等を通じて」の割合が 31.1%、「パブリックコメント時に意見提出する」の割合が 28.1%となっています。

回答者数 = 135

話し合い (会議等) への参加

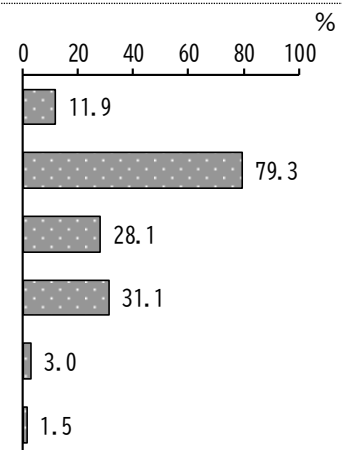
アンケートによる回答 (WEB・紙)

パブリックコメント時に意見提出する

SNS等を通じて

その他

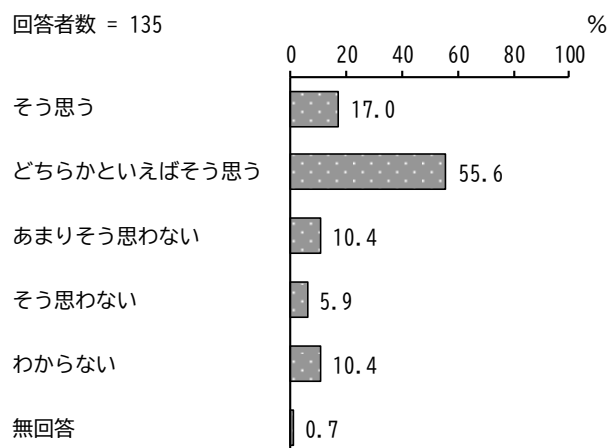
無回答



問 23 福生市は住みやすいまちだと思いますか。また、その理由を教えてください。
(○は1つ)

「どちらかといえばそう思う」の割合が 55.6%
と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 17.0%、
「あまりそう思わない」、「わからない」の割合が
10.4%となっています。

回答者数 = 135



【住みやすいまちだと思う理由（主な意見を抜粋）】

- ・市全体で、子育て支援に力を入れており、保育園に入りやすい。
- ・休日保育、病児（後）保育、学童保育、児童館が充実している。
- ・コンパクトな町の中に生活に必要な施設がすべて揃っている。
- ・交通の便がよい。
- ・都内だが人混みが少ない。
- ・多様性の街で一人一人が合う生き方や支援が多種あると感じる。

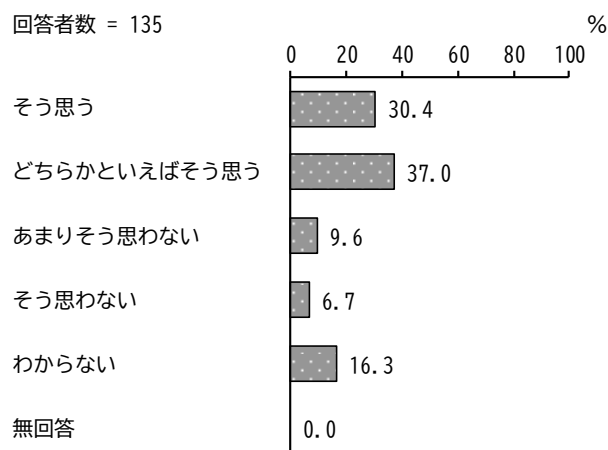
【住みやすいまちだと思わない理由（主な意見を抜粋）】

- ・治安が悪い。
- ・都心からのアクセスが良くない。

問 24 これからも福生市に住みたいと思いますか。また、その理由を教えてください。
(○は1つ)

「どちらかといえばそう思う」の割合が 37.0%
と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 30.4%、
「わからない」の割合が 16.3%となっています。

回答者数 = 135



【今後も住みたいと思う理由（主な意見を抜粋）】

- ・特に不便な点がないから。
- ・子育て支援が充実していて、子育てしやすいから。
- ・東京の中で物価が安いから。
- ・ずっと福生に住んでいるから。
- ・いろいろと揃っていて便利だから。
- ・都心と比べ、人混みが少なく、自然が多く、ゆっくり時間が流れている感じが好きだから。
- ・持ち家があるから。
- ・自然がたくさんあるから。

【今後も住みたいと思わない理由（主な意見を抜粋）】

- ・車が運転できなくなったら生きづらいと思うから。
- ・利便性が悪いから。
- ・治安が悪いから。
- ・大きいショッピングモールやレジャー施設がなく遊べる場所がないから。

Ⅲ 自由回答

分類回答	件数
1. あなた自身のことについて	2
2. 働くことについて	1
3. 家族や家庭について	3
4. 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて	17
5. あなた自身の普段の生活や悩みなどについて	11
6. 将来について	9
7. 福生市について	8

【分類別の主な意見】

1 あなた自身のことについて

- ・ 私たち学生が、自由に意見できる場を大人が率先して作ってほしい。
- ・ もっと障害児への支援を厚くしてほしい。できれば、働く親、そうでない親でも利用できる療育園（8時半～17時くらいまでで、平日全てやっている）を作してほしい。年中の頃に診断を受けても、今まで通っている保育園では療育を受けられない、児童発達支援への送迎の負担等が増えることでフルタイムを退職した。今後同じようなことがないようにしてほしい。

2 働くことについて

- ・ 福生市に住んでいるけれど他市で働く人が多いと感じる（若年層は特に）。市内での働き口が増えるとより暮らしやすくなるのではと思う。

3 家族や家庭について

- ・ 社会に出て働き、人と関わって生きていくための力を子どもには身につけてほしいと思っている。社会の仕組みや政治、選挙へ行く事の重要性など。あと、人の気持ちを慮れる大人になってほしい。
- ・ 現代は、SNS上で人との繋がりを感じられるから、昔に比べると、家庭の人の繋がりや職場の中での人の繋がりが大切にされていない気がする。直接人と関わることで生じるストレスが大きいからかと思う。また、インターネットを使ってダラダラと過ごすことが好きな人（若者から年寄りまで）は、子どもをもったり、仕事をしたりすると、そのゆとり時間が削られるから、働かずに家にいたり、独身のまま1人で暮らすことを、あえて選択している場合もあるのかと思う。
- ・ 弟たちに iPad を配るのをやめてほしい。

4 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて

- ・子どもはほしいと思っているけれど気持ちだけではどうにもできないので、産んだ後も金銭的、精神的なサポートをしてくださると若い人も産もうという気持ちが少しでも上がると思う。そうすると、福生は東京都で人口がワースト2位と伺っているのでそこにも繋がると思う。
- ・福生駅近くに行きやすい小児科がほしい。個人の内科、小児科に行ったが、小児科専門ではないので、サバサバしていてあまり好感をもてなかった。
- ・児童館がたくさんあり、時間を気にせず駐車場を無料で止められるのがとてもうれしい。真夏は暑く日中外で遊べないので、室内遊具を充実させてほしい。室内で遊べる場所を増やしてもらえると嬉しい（徒歩で行くには少し遠いので）。市民プールに、小さい子が遊べるおもちゃ、ボールを増やしてほしい。児童館がたくさんあり、イベントなどを考えてくれるスタッフの方たち、いつもありがとう。清掃も行き届いて、安心な場所なので、子どもとよく利用させて頂いている。子どもを産んだのが高齢だったので、もう少し若い年齢で産んでいたら、新生児から幼児期など、もう少し体力面など楽だったかもしれない。赤ちゃんの世話で寝られない生後半年頃まで、産婦人科などで赤ちゃんを無料か5,000円以内ぐらいで1日預けられる券が3枚ほどあると嬉しい。学生の頃から人生設計、子育て、介護など生涯独身、結婚、就職など考え、自分の好きな事を仕事にできると、人生楽しいと思う。妊娠時期から新生児、子育て中に休みやすい環境、気軽に子どもを預けられる場所、親がリフレッシュできる場所があると子育てもしやすいと思う。
- ・保育園で英語のネイティブの先生が来てくれて、スポーツも外部の方が来てくれているのはありがたい。平日の仕事終わりの習い事は送迎の関係で難しいので、少しでも保育園で経験させてもらえて感謝している。別料金でもよいので、こういったプログラムを充実させてもらえたら最高。
- ・産後うつになりかけたので産後ケア事業をもっと気軽に使えるようにしてほしい。

5 あなた自身の普段の生活や悩みなどについて

- ・きょうだいに、障害児がいる。障害福祉の充実は、障害児・者だけのことではない。親をはじめとする家族全部に関係する。さらには、これから親になる人たちにとっても重要。障害を持って生まれることへの不安がなくなることも少子化対策。出生前診断で確率が高いと9割の人が中絶するという。私は、きょうだいがすごく可愛いくて「生まれてきてくれてよかった、ありがとう」と思っている。そんな命がたくさん失われているのはとても残念。もちろん選択の自由だし、そこを議論するつもりはないが、せめて、どんな子が生まれても「社会全体で守るよ！福生はそんなところだよ！」という安心感があればと思う。実際そういう姿を間近で見て来られたら、私も福生で結婚して子育てもするかもしれない。そして、私の親や本人がもっと自然に社会参加もできていただろう。町会制度も子ども会も、学区内の市立校に通ってないと蚊帳の外。古い体質のまちというのはそういうこと。最も重要なセーフティーネットなのに。
- ・家庭の問題だろうが言葉づかい、態度、行動がやんちゃすぎるように思う。精神的な治安が悪いと感じる。小学校がまともに機能しないという噂もあり、コロナ禍で子どもたちが集団での生活をまともに学べなかったからなのか。これから子どもが小学校に上がるのでとても心配。
- ・できる限り、子どもに寄り添ってほしい。不登校や、信頼できる子がいない子、そういった子どもたちなどの居場所になってほしい。
- ・災害時に子育て家庭が取れる対策を知りたい。地域のつながりが薄れ、どこに誰が住んでいるかわからないという状態が不安。若者の意見は聞いてもらえないものと諦めている。根気強く、意見を聞く場をつくり、どんなことでも聞く耳を持ってほしい。

- ・若い世代が自習しやすい環境が少ないと感じる。学校が開放されていない土日や塾に通えない子、自宅では集中しにくい子など、学習したくても場所がないと感じる子が自分以外にもいるのではないかと思う。自分自身も自宅以外で勉強できるスペースを探したところ、学校、カフェ、図書館などが思いつくが、学校は遠い（電車で片道1時間）し、カフェは長くいることができない、図書館は飲食ができないため長い時間は難しいなどの理由で適した勉強場所が見つからなかった。「無料または低額で、学生が長い時間（朝から夜までなど）集中して勉強でき、軽食や飲み物などは許されている」というようなスペースを用意して頂けたらと思う。

6 将来について

- ・福生市在勤の者だが、福生市の子育て支援策や子育て世帯向けのイベントは、子どもが乳幼児期の家庭を対象にしたものが目立つ一方で、子どもがある程度大きくなった時期を対象にしたものは少ないような印象がある。子育てで一番経済的、親の精神的負担が大きくなるのは、子どもの学費や習い事が増える中学・高校あたりの時期だと思っている。その時期を乗り越えられるイメージを持ってないと、親になりうる世代の人たちは子どもを作る気になれないのではないだろうか。子どものかわいらしさや、子育てのやりがい謳うだけでなく、子どもの進路への向き合い方や、どうやって親が経済面のやりくりをしたかなどを、今幼い子どもがいる家庭だけでなく、これから子どもを作る可能性がある世代の人たちに、講座などを通して伝えていくとよいと思う。
- ・最近の若者は、タブレットやスマートフォンを通して早い段階からソーシャルメディアに触れており、様々な情報を素早く得ることができる。一方で、知識に乏しい場合、大人（シニア世代）にも言えることだが、偏重的な情報を鵜呑みにしてしまう可能性もある。実際、SNSを通しての他者への誹謗中傷やトラブルに巻き込まれるなど、問題も多く起きている。タブレットやスマートフォンは便利である反面、使い方次第では、様々な危険性をはらんでいるので、大人がしっかりとその危険性や正しい使い方を教えていかなくてはならないのではないかと思う。
- ・福生市に限らず、現代の若者はコロナ期間による社交的環境の減少やネット社会の弊害が影響し、人と交流する機会を多く失ったことによってコミュニケーション能力が低下している若者が、昔と比べて多く感じる。社会（大人）がより多く交流する機会を作り、そこで若者の声を1つでも多く受け取り、若者の自己肯定感を促し、社会に貢献する若者を増やす必要があると感じる。
- ・若者の居場所を増やしたい。あれば自分も行きたいし、居場所を作ることに興味がある。子どもといえば「こども食堂」で、誰でも来ていいところもあるようだが、やはり子ども（小学生から高校生）向けと感じるので、成人した若者は行きづらいのではないかと思う。居場所と言っても、強く結びつくコミュニティである必要はないと思っていて「ここでもいいかな」と思える場所がいくつかあるだけでなんとなく気持ちが救われることもあるのではないかと思う。自分は市民会館で「哲学対話」という何かしらのテーマ、問いを決めて対話をする会を何回かやったことがある。それは対話をしたいからという理由で始めたものであるが、人の居場所を作りたいという理由もある。なかなか人が集まらず、市民会館に告知の張り紙はできないとのことで、継続したいがどうすべきか足踏みをしている。若者の居場所作りを支援する会などがあればもう少しやりやすくなるかもしれない。地域と繋がりたい若者のための居場所がまず必要。
- ・一人一人に合わせて、その人が住みやすい環境を取り入れてほしい。国が違うからや支援ができないだけで、相談が終わるのではなく、多方面できることにつなげてほしい。

7 福生市について

- ・ 自転車に乗っている人たちのマナーが悪い。特に小学生と外国人。自分の子どもがそれを見て真似したら嫌だ。車道に自転車用マークがあるけど、狭すぎて子どもを乗せている時は車が近くて怖い。街灯がすくない。歩道が狭い。
- ・ 子どもに関する窓口がたくさんあって、とても良いことだが、本当に相談したい話はいろんな窓口に回されてしまって、結局どこの誰に相談したら動いてくれるのかわからない。（これから動いてくれる人が見つかるかもしれないが）日々忙しいのに私事で申し訳ない気持ちでお話ししている反面、たくさんの人に同じ話を何度もして聞き回っているからか、メンタルが壊れそう。
- ・ 自分を含め、若者が政治に興味がないことに問題意識を感じている。市政の仕組み、今どんな人が議会にいるのか、何が問題点なのか、予算はどのように決まるのか、YouTubeなどでわかりやすく体系的にまとめられたコンテンツがあれば嬉しい。
- ・ イジメや生活困窮者が無い福生市。
- ・ いろんな国に門戸を開いて受け入れるのはよいけど、スーパーマーケットの横や裏にあるアパートみたいに大量のごみが投げ捨てられているのが当たり前の日常になっている。学校にいる日本人以外の人も日本語が分からず、授業中歩いたり刃物を持ち歩いたりとても怖い。改善をもとむ。

